

報告

第2回フランス語圏アフリカ研究セミナー実施報告

愛知県立大学外国語学部国際関係学科
亀井伸孝

【開催概要】

2023年3月26日(日)14:00-17:30

会場:愛知県立大学サテライトキャンパス(ウインクあいち 15階)

主催:愛知県立大学多文化共生研究所

共催:日本アフリカ学会中部支部

協力:愛知県立大学地域連携センター

参加人数:約20名(うち本学関係者5名(卒業生を含む)、学外一般参加者約15名)

1. セミナー開催の目的と特色

「フランス語圏アフリカ研究セミナー」は、アフリカと日本の研究者たちが、その成果について、フランス語で議論する場である。フランス語圏アフリカ研究の活性化を目的としている。

本セミナーの特色の一点目は、フランス語圏アフリカ諸国・地域出身の研究者を中心として組織していることである。このことにより、日本で研究に従事する外国出身研究者、とりわけアフリカ出身の研究者のネットワークを活性化させることができる。

特色の二点目は、発表と討論をすべてフランス語のみで行うことである。国際的にも重要な学術言語でありながら、日本国内の行事でフランス語が用いられることはきわめて少ない。フランス語で学術交流の機会をもつことは、フランス語圏アフリカ出身者の活躍の場を活性化させるとともに、日本の研究者に対してよい語学的トレーニングの場を提供することにもなっている。

以上の二点の特色に鑑み、日本における多文化共生の課題に向き合う本研究所として、開催する重要な意義をもっている。

2. セミナーの内容と参加者の状況

今回のセミナーでは、名古屋大学のクリスチャン・オチア准教授に講演してもらった。また、愛知県立大学、南山大学、名古屋大学の研究者らが、合計4件の発表を行った(表1)。

司会進行は、クリスチャン・オチアと亀井伸孝が担当した。アシスタントは、名古屋大学のジャン＝フィデル・シエおよびカラタ・レヘマ・ムサが担当した(表2)。

第1回(2021年3月22日開催)は、新型コロナウイルス感染症流行の状況に鑑み、Zoom会議室を用いたオンライン形式の実施であったが、その後の感染症の動向を見据えた上で、今回は対面での開催とした。その結果、合計約20名の参加があった。愛知近辺のみならず、長崎からも申し込みがあり、関西からの参加や問い合わせも相次いだ。

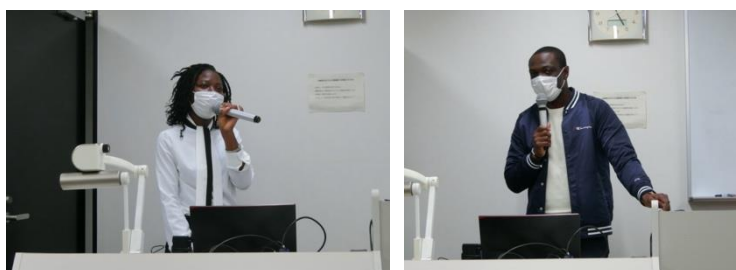
内容としては、言語、文化、開発、国際協力、多国間外交、政治、経済と多分野にわたり、フランス語でのアフリカ諸国・地域に関する総合的な人文・社会科学の学術交流と社会還元

よい機会となった。質疑応答も充実していて、フロアからの発言が途切れることなく、予定終了時刻 17:15 を約 15 分延長する形で、17:30 頃に終了した。

行事終了後に届いたコメントとしては、「それぞれの発表がとても面白かった」「大変実り多い一日を過ごさせていただいた」「アフリカ各地から来た学生の皆さんとお話できた」「日本にこれだけアフリカ地域から若い専門家やアクティブな院生が来ているというのは素晴らしいこと」などと、きわめて好意的な反響が多かった。さらに、今後とも継続して同様の行事を開催したい、具体的には第 3 回の開催を期待したいとの声が強く見られた。これまでは、第 1 回(2021 年 3 月)、第 2 回(2023 年 3 月)と不定期に開催してきたが、今後は年に 2 回ほどのペースで定例開催していくという方針案も浮上した。2023 年度は、可能であれば夏休みと春休みの 2 回開催することを想定し、引き続き今後の準備のための意見交換を行うこととした。



左から：Christian Otchia、亀井伸孝、Georges Bosakaibo の各氏（いずれも発表者）



左から：Florence Kouame、Jean-Fidèle Sie の各氏（いずれも発表者）



左から：会場全景 1、会場全景 2、参加者記念撮影

写真：当日の様子

(写真はいずれも、2023年3月26日、本学サテライトキャンパスにて主催者撮影)

表 1 セミナーのプログラム(当日実施状況に基づき亀井作成)

14:00-15:00	Conférence invitée L'aide étrangère japonaise et vote à l'ONU : Quelles sont les implications pour l'Afrique et le TICAD ? Conférencier : Prof. Christian Otchia (Université de Nagoya)
15:00-15:30	Intervention 1 La naissance de la Langue de Signes d'Afrique Francophone (LSAF) et les relations avec les autres langues des signes Intervenant : Prof. Kamei Nobutaka (Université Préfectorale d'Aichi)
15:45-16:15	Intervention 2 Lancement du livre : Les effets de la participation des parties prenantes sur le développement local - Le processus d'exploitation du bois dans la province de Mongala en République Démocratique du Congo Intervenant : Prof. Georges Bosakaibo (Université de Nanzan)
16:15-16:45	Intervention 3 Réconciliation et Personnalité Intervenant : Florence Kouame (Université de Nagoya)
16:45-17:15	Intervention 4 L'importance de la capacité productive dans l'industrialisation de l'Afrique Intervenant : Jean-Fidèle Sie (Université de Nagoya)

表 2 セミナーのスタッフ(当日実施状況に基づき亀井作成)

■司会進行 亀井伸孝(愛知県立大学)(開会の辞も担当) Christian Otchia(名古屋大学)(閉会の辞も担当)
■アシスタント Jean-Fidèle Sie(名古屋大学) Karata Rehema Mussa(名古屋大学)